



シルバー所沢

第143号

2018年7月1日

つどいの樹

発行：公益社団法人 所沢市シルバー人材センター/広報委員会
〒359-1141 所沢市小手指町1-5

小手指タワーズ・エバースカイトワー 203

☎ 04-2928-8695/FAX 04-2924-0630

ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/>

▽もくじ△

2頁Ⅱ定時総会で役員改選など

3頁Ⅱ理事長「決意新たに」

4頁Ⅱシルバー農園で小麦収穫

5頁Ⅱ初の出張就業相談会

6頁Ⅱサークル訪問 34

健康一口メモ 42

7頁Ⅱお仕事拝見 82

婚約指輪が見つかった！

8頁Ⅱ9月に創立40周年式典
シルバー豆宣伝

チャーミングな最長老 五社よし子さん（新所沢）



白髪を美しく紫色にヘアメイクしている五社よし子さん（新所沢）。会員番号は700番台と、創立40周年を迎える所沢シルバーで、副理事長も務めた最長老です。

平成4年、知人に紹介され入会。翌年には「体を動かしなさい」と、今は亡きご主人の重雄さんを「引っ張り込

んで、夫婦で就業していたのよ」。そして懐かしそうに手にされたのは、重雄さんも編集委員に名を連ねた創立20周年記念誌でした。

シルバーではさまざまな仕事を経験。今も市民文化センター・ミューズの催し物チラシの封入作業を続けています。「仕事をしていると人と人の

つながり、友達ができて、とても楽しいの」と米寿を迎え前向きです。

週に1度は近所の洋裁教室に通い「お友達から頂いた布で手作りを楽しんでいるの」とチャーミングな笑顔。取材でお会いした日も、自作の紺のレース地のベストを素敵に着こなしていました。

（保里）

定時総会に138名

所沢市シルバー人材センターの平成30年度定時総会が6月19日(火)、中央公民館大ホールで開かれ、138名(委任状1262名)が出席。創立40周年の節目の年に、森澤弘理事長は挨拶で会員の拡充、安全・適正就業、そしてうどん作りを通しての所沢文化の継承を訴えました。

議事は森澤理事長が議長を務め、30年度の事業計画などが報告された後、理事・監事の選任案など2議案が提出されました。出席者から就業開拓の在り方や「所沢うどん」の概要などについて質問があり、事務局長



らの説明の後、いずれも拍手で承認されました。

所沢シルバーの顧問でもある藤本正人市長や市議会議員は定例会の一般質問と重なり出席できませんでし



悠和会も総会

シルバーの総会に先立ち悠和会の定時総会も開かれ、30年度事業計画など2議案が提出され、いずれも拍手で承認されました。

二つの総会終了後には、会場を星の宮のベルヴィザ・グランに移し懇親会が開かれ、約100名が親睦を深めました。(広報委員会)

理事会報告

3月理事会 3月30日(金)

議案 新入会員の承認 ◆ 規程等

の一部改正の承認。

報告 平成29年度第2回職務の執行状況 ◆ 各委員会活動など。

4月理事会 4月27日(金)

議案 新入会員の承認 ◆ 平成29年度収支補正の承認 ◆ 平成30年度定時総会提出議案(29年度監査報告書、報告事項①29年度事業及び収支補正予算②30年度事業計画③30年度収支予算④センター事務所所在地変更、決議事項①29年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録②理事及び監事の選任)の承認。

報告 各委員会活動など。

5月理事会 5月31日(木)

議案 新入会員の承認 ◆ 利益相反に係わる承認。

報告 各委員会活動など。

平成30年度 役員紹介

顧問	藤本 正人
	(所沢市長)
理事長	森澤 弘
副理事長	高柳 倫子
専務理事	小山 一
	(兼事務局長)
理事	田中 憲明
〃	磯 重男
〃	檀原 賢吉
〃	成田佳代子 (新任)
〃	山本 倫男 (新任)
〃	渡邊 悦子 (新任)
〃	戎 裕可 (新任)
〃	寺内 博子
	(商工会議所)
〃	平川 聖一
	(社会福祉協議会)
監事	渡邊 光信
〃	木村 一男 (新任)

退任役員

30年度定時総会で5名の方が任期満了により退任されました。ご尽力に感謝します。

杉本 慎一 (理事)
下村 三郎 (理事)
浅上 勝敏 (理事)
野崎 義昭 (理事)
柴田 勲 (監事)

創立40周年、決意新たに

理事長・森澤 弘

会員や関係機関の皆様には、当センターの事業運営に格別なご支援、ご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、異常気象によるものなのか猛暑や長雨があり、市内にも台風の被害が発生しました。老人憩の家「さくら荘」では23日間、20名の避難者の方々をお世話しました。慣れない対応に当たった会員の皆さん、ご苦勞様でした。

スポーツでは今年、韓国で冬季オリンピック・パラリンピックがありました。23個のメダルが物語るように「最後まで諦めないで良かった」と自分自身に勝ち、支えてくれた家族や多くの人に感謝している。素晴らしいことです。「私たちにも感動をあげよう」と申し上げたい。

昨年、印象に残っている事業は大きく二つあります。

一つは営農グループ。5年前、市の協力をいただき葉物野菜を中心にスタートしました。2年目にはチップ

工場を立ち上げ循環型農業を確立し植木職の収入増につなげました。昨年度は県の魅力向上事業に採用され、地元産の小麦粉を使ったうどん作りに取り組み、所沢食文化の継承に貢献しています。テレビ埼玉でも放映され反響を呼びました。

二つ目は地域サポート事業。3年がたち、11地区の地区長や会員の協力と努力が実を結びました。28年度の収入52万円が29年度は153万



円まで大きく伸びました。これは、生きがいと地域のニーズを結ぶ新総合事業でもあります。家事援助、日常生活支援など地域での就業を通じて会員の生きがいの充実、そして福祉の増進に資することを目的としているからです。吾妻地区の松が丘では会員16名が一致団結し、自主・自立による「ちょこつとサポート」を積極的に進めてくれています。

所沢市が、未来につながる成長作戦を発表しました。その第一がクルジャパンフォレスト構想・ところざわサクラタウン建設です。文化と自然が共生した、住んでみたい、誰もが一度は訪れたい、そんな街づくりが進められ、シルバーも仕事をいただいています。また所沢駅東口や車両工場跡地の再開発が進められています。いずれも、一部を除き2年後に完成予定で、市が活性化に向かう中、仕事があることに引き締め、努力して参ります。

会員の皆様にお願ひがあります。まず会員の拡充です。シルバー事業の維持・発展や積極的な事業運営を行うにも会員拡充は不可欠です。1会員1人入会促進運動を達成できるように、ご努力をお願いします。昨年は35名の紹介がありました。

次に安全・適正就業の推進です。昨年度、保険で対応した(障害と賠償を合わせた)事故は前年と同じ13件でした。「安全は全てに優先する」。うっかりミスをなくし「事故ゼロ」の金字塔を目指します。

三つ目は派遣と地域サポート、新たな営農の推進です。派遣事業の収入は29年度7961万円と、県内60団体の4位でした。所沢食文化のうどん販売にも頑張つて参ります。

今年は所沢シルバー創立40周年という記念すべき年です。決意も新たに、公益性の高い事業展開と財政の健全性を保ち、地域社会から信頼される公益社団法人として「自主・自立、共働・共助」の理念の下、会員の豊かな経験と知識を生かし、時代のニーズにマッチした活動を積極展開します。就業だけでなくボランティア活動にも積極的に取り組むことで、豊かな元氣ある地域社会づくりに貢献できると確信しています。

30年間住み慣れた旧庁舎の事務所は、耐震性の問題などがあり小手指駅前引越しました。駅の改札から200歩の、高層ビルの2階です。ぜひ足をお運びください。

シルバー小麦収穫 1500^キ近くに

中富の農園

麦秋の6月13日(水)と14日(木)に、中富のシルバー農園で小麦の収穫作業が行われました。50^ア(約1500坪)の畑でひと冬を越した小麦を、営農グループのリーダー、五十嵐保さん(三ヶ島)ら述べ7人がコンバインで刈り取りました。

冬から春先の天候不順なども響いて目標には届かなかったものの、1500^キ近くを収穫しました。刈り取り脱穀された小麦は、すぐに市内の設備を持つうどん店に運び乾燥。その後、三ヶ島のチップ場と西新井支所で、良質の小麦粉になるよう2カ月ほど寝かせています。

昨年、別の畑で収穫し製粉した小麦粉は残り少なくなり、生麺作りは



刈り取り風景



脱穀した小麦を搬送用器に

いったんお休みし、乾麺も7月中旬底を尽きそうです。しかし8月には新たに収穫した小麦の製粉が可能になり、その量は昨年の1.5倍以上に。9月には平成30年度産の乾麺を提供できそうです。

また生麺は、試験的に一部の小麦の「寝かせ」期間を短縮し、7月後半から8月初旬にかけて製粉。生うどん作りを再開する予定です。

「新そば」ならぬ「新うどん」が所沢ブランドとして、いろいろなイベントに登場し、市民の認知度が上がるよう期待したいものです。

(広報委員会)

7月はシルバー安全月間

事故防止は日常生活から

7月は全国シルバー人材センターの「安全・適正就業強化月間」です。所沢シルバーでも7月2日(月)、事

務所で安全大会を開き、安全統括責任者の小山一事務局長が安全宣言。事故ゼロを誓いました。

所沢シルバーでは平成29年度、就業に関連して会員がケガをした事故Ⅱ傷害事故が14件(シルバー保険対象外を含む)起きました。バランスを崩して転倒するケースが目立ちます。加齢に伴う体力の衰え、バランス感覚の低下を自覚して、適度な運動を行い、食事や睡眠に配慮した日常生活を心がけてください。

(安全推進委員会)

各委員会委員に委嘱状

平成30年度から2年間の各委員会活動を担う委員が決まりました。6月22日(金)、小手指公民館分館で森澤弘理事長から委嘱状が手渡された後、委員会ごとに初会合。活動内容などを確認しました。

各委員会の委員は次の通りです。

◇事業推進委員会

委員長・高柳倫子(吾妻)、田中憲明(三ヶ島)、磯重男(並木)、檀原賢吉(柳瀬)、山本倫男(新所沢東)、戎裕可(吾妻)、成田佳代子(新所沢東)、渡邊悦子(小手指)

◇総務委員会

委員長・田中憲明、江村高寿(所

沢)、塩原茂子(山口)

◇会員活性委員会

委員長 成田佳代子、葛西寿美(松井)、水流美智子(新所沢東)

◇地区活動委員会

委員長・磯重男、川名隆(新所沢)、鈴木平八(吾妻)、黒田昭夫(並木)、金子保夫(山口)、井本順一(三ヶ島)、川瀬昭栄(富岡)、阪口俊治(小手指)、濱田誠(柳瀬)、田中隆男(新所沢東)、塚本吉郎(松井)、村松茂夫(所沢)

◇広報委員会

委員長・渡邊悦子、野崎義昭(小手指)、今村榮作(新所沢)、増田和機(山口)、菰田一(吾妻)、佐藤郁子(松井)

◇就業推進委員会

委員長・山本倫男、藤倉美津子(三ヶ島)、野尻博道(新所沢)、堀内文二(並木)

◇職群班委員会

委員長・戎裕可、中島澄子(柳瀬)、小川弘(並木)、五十嵐保(三ヶ島)

◇安全推進委員会

委員長・檀原賢吉、田口一正(山口)、中西實(柳瀬)、岩田光雄(三ヶ島)

松井地区など対象に 初の出張就業相談会

未就業の会員を対象にした「出張就業相談会」が5月23日(水)、松井公民館で開かれました。

就業相談会はこれまで毎週水曜日に開かれていました。しかし事務所移転に伴い会議室の確保が難しくなり「だったら地区に向いて相談会を」と発想を転換。第1回として仕事の依頼が多い松井、柳瀬、富岡地区を選びました。

あいにくの雨模様でしたが20名



の会員が参加。二木洋祐係長から就業までの流れの説明を受けた後、46件の依頼が掲載された「お仕事のお知らせ」に目を通しました。就業先の場所や、仕事の内容などについて就業開拓出員の杉渕洋幸さん、石津美津子さんに相談したり、顔見知り同士が情報交換する姿も。この日は7名が「就業希望先」を提出。その後、就業が決まった方もいました。

事務局では月に1、2回、出張就業相談会を開く予定で、対象地区の未就業会員にはハガキで日程などをお知らせします。

事務所では常時、相談可能

なお、事務所では常時、個別の就業相談に応じています。また会員専用ホームページの「Smile to Smile」でも最新のお仕事情報を掲載しています。(広報委員会)

新事務所で業務スタート

公共交通機関の利用を

所沢シルバーは5月1日(火)から小手指駅北口前のエバースカイタワー2階に事務所を移転しました。

これに先立ち4月29日、30日の連休を利用し事務局の職員総出で引越作業。森澤弘理事長や臨時職員



の方も含め書類を棚に納めたり、パソコンの環境設定などに汗を流しました。受付カウンターが業者の都合で仕事始めに間に合わないトラブルもありましたが、まずは順調にスタートを切りました。

ただ、無料の駐車場、駐輪場が周辺にないため、会員からは「どこに止めればいいのか」との苦情も多く寄せられています。最初の2時間は無料の駐輪場などもありますが、できる限り電車やバスを利用するようお願いしています。

また履行確認書は事務所に直接届ける以外にも、郵送やファクスでの提出も可能です。詳しくは事務局にお問い合わせください。(石井)

派遣業務の基礎知識を

無料講習会を開催

シルバー会員を対象に、県のシルバー人材センター連合「いきいき埼玉」が派遣業務の基礎知識などを学ぶ「高齢者活躍人材育成講習」の受講者を募集しています。

就業機会の増加が見込まれる派遣業務のうち▽介護補助▽保育補助▽調理補助▽家事援助・生活支援▽スーパーマーケット▽ホームセンター——の6分野で、それぞれの仕事に必要な基礎知識を学びます。

講習は3日連続(家事援助・生活支援は2日連続)で各日午前10時～午後3時。定員は15～25名で、希望者多数の場合は選考となります。各分野で開催日程、会場、申し込みの締め切り日などが異なります。詳細はセンター事務局にある、申込用紙付きのパンフレットをご覧ください。

受講料は無料ですが、会場への交通費や昼食代は自己負担です。また受講が就業にすぐ結びつく保証はありませんが、興味のある分野のスキルを高めるチャンスとして活用してください。(事務局)

サークル訪問 34

会話を楽しみながら

―めぐりウォークの会―

会長・小川 弘

毎月第2土曜日は「ウォークの日」です。会員は就業最優先。でも開催日が固定されているため、皆さん、仕事を調整し参加しています。

所沢駅に午前9時集合。目的地への電車内やウォーク時の会話も弾みますが、出発までの短い時間も近況報告などで盛り上がり、初めて参加する仲間もすぐに打ち解けることができます。

季節に合わせて市内や近郊の名所・旧跡を巡ります。今季は3月の梅、4月の桜、5月のツツジを計画しましたが、季節の変化が早く満開に巡り合えませんでした。それでも



散り残った花の風情もそれなりに趣がありました。8月は猛暑を避けて夏休み。9月は東京・渋谷のNHKスタジオ見学を予定しています。

※会員数 50名

※年会費 500円 参加費 300円

楽しく、安全に

―ボウリング愛好会―

会長・米永清人

毎月第2月曜日(祝日の場合は第3月曜日)の午後、星の宮のスターレーンで月例会を実施しています。現在のメンバーは4人に1人が80歳以上で、85歳を超す方もいて3ゲームを楽しんでいます。

やはり昔のボウリング全盛期に、何かしらの折に「投げたことがあるよ」と言う方が多いようです。マイボール・マイシューズの方、ハウスボール・貸し靴の方、それぞれに月1回の開催を待ち望んでいるようです。ゲーム終了後には、優勝から5位までなどの入賞の部、200アップ賞、誕生月賞、特別賞の表彰式を行っています。成績は成績として、会員同士の親睦を深めています。

モットーは、安全で楽しい健康なボウリング。ゲームの前には体をほ

ぐすためにラジオ体操をして、ゲーム中はレーンの要所に役員を配置し安全な進行に努めています。

※会員数 64名

※年会費 1000円



※月例会(ゲーム代)1500円

◎両サークルともお問い合わせは

悠和会事務局へ

☎04・2928・8695

横須賀の軍港めぐりへ

悠和会恒例の親睦バス旅行は9月27日(木)、日帰りです。神奈川県横須賀市を訪ねます。

船に乗ってのYOKOSUKA軍港めぐりと、浦賀の東叶神社、西叶神社のロマンを楽しみます。会費は6000円です。申し込み方法などは折り込みチラシをご覧ください。

健康一口メモ42

夏の食事を楽しむには

暑くなると、さっぱりした麺類や冷たい飲み物に、ついつい手が出てしまいがちです。しかし、胃腸の働きを良くするのは、ご飯が一番おいしく感じるセ氏60度くらいの食品です。野菜や肉・魚の炒め物などにカレー味や唐辛子を加えると、食欲がでます。

気温や海水温が上がると、食中毒

の原因となる菌が増えます。体力の低下しやすい夏は、いつもにも増して肉や魚を十分加熱します。生ものに使った箸や包丁、まな板、スポンジなどは熱湯消毒し、手もよく洗うことを心がけてください。

また、カレーや煮込み料理を常温で保存するのは禁物です。再加熱しても死なない菌が増える危険性があります。たくさん作った時は早めに小分けして、保冷剤などで手早く冷やした後、冷蔵すると安全です。

(保健師・西村園子)

お仕事拝見 82

フットワーク軽く
快適利用を支える

北中運動場の管理

北中にある市営北中運動場で、施設管理にシルバー会員6名が働いています。グラウンド2面、テニスコート3面、ゲートボール場2面、芝生広場2カ所、そして120台収容の駐車場と調整池を含む広大な施設を、会員2名ずつでローテーションを組んで、朝8時半から夕方5時半まで管理をしています。



取材の日の勤務はリーダーの岡田照正さん（三ヶ島）と阿部佐富さん（富岡）。当番ではなかった平澤守さん（小手指）と山崎隆昌さん（富岡）にも協力していただきました。他に久保田一夫さん（小手指）と森敏雄さん（新所沢）が就業しています。

仕事は利用者の受け付け、施設の貸し出しや管理ですが、気持ち良く利用してもらうため、朝は8時頃から清掃やグラウンド周辺の点検をしています。通常1日に4回、雨の日も雪の日も、広い施設を見回り1万6000歩は歩きます。何かあつて利用者にグラウンドに呼ばれると2万歩を超えることもあります。皆さんフットワークも軽く、仕事を楽しんでるようです。

苦労もあります。「グラウンド状況が悪くて使用中止の決定を連絡しても、利用者が納得しないことも。また貸し出し時にカードを提示してくれないなど、ルールを無視した振る舞いにも困ることがあります。北中のトイレは開場した23年前の和式のまま、夏には掃除をしても臭いが……」と言われましたが、奇麗に清掃されていました。

生活ごみ、産業廃棄物をごっそり

捨てるなど常識では考えられないようなこともあり、対応に奔走すること。しかし皆さん、とても明るくドライが飛び交う職場でした。

（文・保里、写真・増田）

——ちよつといひ話——

婚約指輪あつた！

初孫も授かった！

遺品整理の佐藤郁子さん

急死された奥様の遺品整理をお手伝いした話がつどいの樹142号に掲載されました。その際、依頼主の磯裕幸さんから「大半は処分する覚悟だけど、婚約指輪だけは見つけて欲しい」と言われました。

つどいの樹を読まれた多くのさんから「指輪は見つかったの」と聞かれましたが、私はにつこり笑ってピースサイン。見つかったのです！昨年12月から「ちよこつとサポート」で磯さんのお宅に通い始めたものの、なかなか見つからず少し焦っ

地区懇が始まります

市内11地区で開催される地区懇談会が9月の山口、小手指両地区から順次スタートします。

森澤弘理事長や事務局と意見を交わし、地域の会員同士が交流する貴重な機会です。各地区長から案内状が届きますので、積極的な参加をお願いします。（地区活動委員会）

ていた6回目の作業時でした。荷物に隠れていた引き出しの中に、たくさんのおアクセサリーに紛れた指輪を発見！磯さんに見せると「これこれ、これだ！」と、2人で大喜びしました。

この話には後日談が。指輪は「妻が喜ぶはず」と、奥様が実の娘のように可愛がっていた長男のお嫁さんにプレゼント。そして、そのお嫁さんに、奥様と磯さんが「待ちに待った初孫を授かった」と、満面の笑みで教えてくださいました。

磯さん宅の仕事は5月に終了し、もう伺えないのは寂しいのですが「部屋も心も軽くなった。友人にもっと遊びにきてもらおう」と喜ぶ磯さんに、私も楽しい時間をいっぱい頂いたのだと感じました。（寄稿）

シルバー豆宣伝

○会員を募集しています

シルバー人材センターは、営利を目的とせず国や自治体の支援を受けて運営される公益社団法人です。会員の「自主・自立、共働・共助」を基本理念に、働きたい、社会参加したい方が集う場です。

市内在住の60歳以上で、健康な方なら誰でも参加できます。興味があれば、センター事務局にお問い合わせください。入会方法などをご説明します。積極的なご参加をお待ちしています。

○健康相談日

元気に就業し日々を明るく過ごすため健康相談を行っています。

7月19日(木) 10時～12時

8月16日(木) 10時～12時

9月20日(木) 10時～12時

10月18日(木) 10時～12時

※場所＝事務所向かいのディアスカイタワー1階北端にある**小手指まちづくり事務所**

○出張就業相談会

市内各地区で随時開催。当該地区の未就業会員にはハガキでお知らせします。また事務所でも常時個別の就業相談に応じています。

あとかぎ

事務所が小手指駅北口に移りました。旧庁舎時代に比べ「明るくなったね」との声も聞きます。そして定時総会で新役員、新委員による体制がスタート。広報委員会も新メンバーを迎え、より身近な紙面づくりを目指します。なお、今号は定時総会の模様を掲載するため、お手元に届くのが遅れました。ご了承ください。

(渡邊)



所沢シルバーの創立40周年記念式典が9月14日(金)午後、市民文化センター・ミューズのマキナーホールで開かれます。

これまでシルバー活動を支えていただいた行政や企業の方々、そして仕事を依頼された多くの市民の皆さんに感謝の思いを伝え、同時に新

所沢シルバー40周年 9月14日に記念式典

ミューズで

しい歴史への第一歩を踏み出す、そんな式典を企画しています。

島田洋七さんが講演

また、市民も対象に記念講演会も行われます。講師は島田洋七さん。1980年代の漫才ブームの立役者であり、祖母との8年間の暮らしを書いた「佐賀のばいばあちゃん」はベストセラーになりました。今も漫才師として、また講演や執筆で活躍されています。どんな話が聞けるか楽しみです。

式典の案内は8月頃、会員皆さんにお届けします。

(40周年記念事業実行委員会)

11月に所沢シルバーまつり

会員作品展も一緒に

シルバー会員の親睦、連携を図り

併せてシルバー活動のPRなども兼ねた第1回所沢シルバーまつりを11月21日(水)、22日(木)の2日間、中央公民館と元町コミュニティ広場を会場に開催します。

悠和会の全面協力で①恒例の「会員作品展」を主体に絵画や手芸品などを展示する文化部門②舞踊や太鼓演奏などの演芸部門③綿あめやシルバードンなどの販売部門―で構成。「地域に開かれたシルバー」をアピールします。詳細は随時お知らせします。

(会員活性委員会)

とことこタワーまつり

所沢シルバーも大活躍

第24回とことこタワーまつりが5月13日(日)、雨模様にもかかわらず多くの市民が参加し、所沢駅西口

一番人気はやはり綿あめ



前から元町にかけてのタワービルを会場に開催されました。

所沢シルバーも7回目の参加。元町コミュニティ広場に、かき氷、ポップコーン、綿あめのブースを開き、営農グループの朝どれ野菜や所沢うどんも並びました。イベント班を中心にしたスタッフの、赤いベストと黄色い帽子がまつりをよりあげました。

(文・渡邊、写真・菰田)